

平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	聴覚障害者の安全運転のための実車による実験等調査研究		担当部局庁	交通局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～平成22年度		担当課室	運転免許課		運転免許課長 廣田 耕一		
会計区分	一般会計		施策名	4 安全かつ快適な交通の確保				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	両耳の聴力が、補聴器を用いても10メートルの距離で、90デシベルの警音器の音が聞こえない程度の聴覚障害者についても、平成19年の道路交通法改正により、特定後写鏡(ワイドミラー)の装着を条件に普通乗用自動車の運転が可能になったが、聴覚障害者団体からは運転することのできる車種の拡大について要望があることから、その問題点等について、とりまとめる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	聴覚障害者に対するアンケート調査や実車による実験等及び専門委員との委員会の実施等を行い、報告書を作成する。 [平成21年度～平成22年度計画の2年度目]							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他()							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	10	7	-	-	
		繰越し等	-	0	0	-		
		計	-	10	7	-	-	
		執行額	-	7	4			
	執行率(%)	-	70%	57%				
	成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度
(成果目標) 聴覚障害者が運転することができる自動車の拡大に関する報告書のとりまとめ		成果実績	件	-	1	1	-	
(成果指標) 報告書数		達成度	%	-	100%	100%		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	「聴覚障害者の安全運転のための実車による実験等調査研究委員会」開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	-	3	3 (3)	- (-)
単位当たり コスト	11,120千円 / 事業		算出根拠	総事業費				
平成23・24年度予算内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業については、警察庁が直接契約していることから、支出先を把握している。 2 見直しの余地 本実施に当たっては、一般競争入札で行っており、競争性の高い契約の実施に努めた。 今後も、調査研究等の実施に当たっては、競争入札を実施するなど、競争性の確保に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし(事業の終了)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

警察庁
4百万円

〔調査研究事業を委託〕



【一般競争入札】

A.(株)都市交流プランニング
4百万円

〔受託した調査研究事業を実施〕

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.(株)都市交流プランニング			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	研究者及び研究補助員	4			
	計		4	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)都市交流プランニング	聴覚障害者の安全運転のための実車による実験等調査研究	4	4	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

聴覚障害者の安全運転のための実車による実験等調査研究

平成21年度

- アンケートの実施
 - ・ 新規免許取得者(聴覚障害者)及び一般運転者に対するアンケートの実施
- 専ら人を運搬する構造の普通自動車以外の自動車等についての基礎的調査の実施
 - ・ 車体構造、走行特性の調査
 - ・ 危険場面の抽出
- 専ら人を運搬する構造の普通自動車以外の自動車等(二輪車)についての実車による実験等の実施
 - ・ 通常のミラーによる視界と死角の計測
 - ・ 実車による実証実験

平成22年度

- 専ら人を運搬する構造の普通自動車以外の自動車等(四輪車)についての実車による実験等の実施
 - ・ 通常のミラーによる視界と死角の計測
 - ・ 実車による実証実験